			HA8000/R	RS110-h(HM1/LM1/KM1/MM1) 横	<b>製器仕様</b>	
モデル名			RS110-h HM1 RAID5(SAS 6Gb/s)	RS110ーh LM1 RAID5(SAS 6Gb/e) (ディスクアレイコントローラネート・ キャッシュハ・ックアップ・付モデ·&)	RS110—h KM1 RAID5(SATA 3Qb/s,6Qb/s)	RS110ーh MM1 RAIDS(SATA 36b/s,6b/s) (デ・スタフレイコントーラボート キャッシュパックアップ・付モデル)
筐体タイプ					-/[1U]	
CPU	周波數		インテル <sup>®</sup> Xeon <sup>®</sup> プロセッサー E5-2470(2.30GHz)/E5-2440(2.40GHz)/ E5-2420(1.90GHz)/E5-2403(1.80GHz)/E5-2430L(2GHz)、インテル <sup>®</sup> Pentium®プロセッサー1403(2.60GHz)			
	プロセッサー数(コア教/スレッド教)		1(インテル <sup>®</sup> Xeon <sup>®</sup> プロセッサー E5-2470(2.30GHz):8:37/16スレット、E5-2440(2.40GHz)/E5-2420(1.90GHz)/E5-2430(1.2GHz):6:37/12スレッド、 E5-2403(1.80GHz):4:37/4スレッド、インテル <sup>®</sup> Pentium <sup>®</sup> プロセッサー1403(2.60GHz):2:37/2スレッド)			
	キャッシュ		データ 32KB/コ7 - 命令32KB/コ7 256KB/コ7			
Ĭ	メモリー 二次/1CPU		// / / / / / / / / / / / / / / / / / /			
三次/1CPU		±X∕ IGPU	グラル メーター (プロセッサー E5-2403(1806Hz): 10MB / イラル Pentium "プロセッサー403(2800Hz): 5MB			
メインパス(QPI+1)			インテル『Xeon『ブロセッサーE5-2470(2.30GHz): 8.0GT/s、インテル『Xeon『ブロセッサーE5-2440(2.40GHz)/E5-2420(1.90GHz)/E5-2430L(2GHz): 7.2GT/s、 インテル『Xeon『ブロセッサーE5-2403(1.80GHz)/インテル®Pentium®ブロセッサー1403(2.60GHz): 6.4GT/s			
チップセット	I				C600 chipset	
メイン	容量 *22 スロット教		最小: 2GB/最大: 192GB			
メモリー	サポートメモリー容量		2GB,4GB,8GB,16GB,32GB			
	仕様		DDR3-1600 Widerange Registered ECC(2GB/4GB/8GB/16GB), DDR3-1333 Widerange Registered ECC (8GB/16GB/32GB), Patrol Scrubbing, Demand Scrubbing, Sparring, Mirroring, Lockstep Mode Device tagging *2			
İ	動作周波數+26+31		(60B) 103B) 223B), Paul of Scribbing, Demand Scribbing, Sparring, mirroring, Donsteip mode, Device dagging *Z  800MHz/1038MHz/1600MHz			
表示機能	アクセラレータ		Emulex Pilot3[オンボード]			
	VRAM 表示解像排	(表示色)*3	32MB 640×480ドット(1677万色), 800×600ドット(1677万色), 1024×768ドット(1677万色), 1280×1024ドット(1677万色)			
ハードディスク	容量	RAID0	最大7.2TB(90		最大12TB(3TB×4)	
(本体内蔵)	*4*5*13 RAID5		292GB(146GB × 3)~		500GB(250GB >	: 3)~9TB(3TB × 4)
	サポートHDD容量		HDD:146GB,300GB,450GB,600GB,900GB / HDD:250GB,500GB,1TB,2TB,3TB SSD:80GB,200GB		0GB,1TB,2TB,3TB	
	インタフェース		HDD:SAS 6Gb/s / SSD:SATA 3Gb/s(80GB), SAS 6Gb/s(200GB)  SATA 3Gb/s(250GB/500GB/1TB),6Gb/s(2TB/3TB)  HDD:10.000r/min(146GB/300GB/450GB/600GB/900GB),			
	回転數		15,000r/min(146GB/300GB)		0r/min	
ディスクコントローラ	ホットプラグ/ホットスペア コントローラ		ホットブラグ/ホットスペア可能 LSI社製 SAS 2208			
74201011-7	インタフェース		LISTER OF ATA 200'S ATA 20			
	キャッシュ容量		512MB(SDRAM/ECC)	1GB(SDRAM/ECC)	512MB (SDRAM/ECC)	1GB(SDRAM/ECC)
DVD-ROM/DVI	サポートRAIDレベル /DーRAM		RAID 0, 1, 5, 6, 10, JBOD 薄型 DVD-ROM:8倍速/DVD-RAM <b>+27</b> :5倍速/CD-ROM:24倍速(SATA 1.5Gb/s)			
拡張ペイ	2.5型ペイ(HDD専用ペイ)		最大8(7台以上は増設HDDケージの搭載が必要) ー			
	3.5型ペイ(HDD専用ペイ) 5型ペイ(リムーパブル)		- 4			
	5型ペイ(別		+	1(DVD-ROMもしくはDVD-RAM <b>*28</b> (ご	ー こで1へ「イ占有、増設HDDケージと排他)	
PCIスロット		-	PGI-Express 3.0(x16): \(\(\text{LowProfile}\)\) PGI-Express 2.0(x4): \(\(\text{LowProfile}\)\)			
標準インタフェース	標準インタフェース		デスプレイミこつ-SUB15ビンル、シリアル(D-SUB9E) シル、 USBx6(+-本"+\"7つ)た様の場合が一つも有、20プールニュントデスプレイ+-ホ"+ ユンント接続の場合1ホ"占有 <b>*7</b>			
	LAN コントローラ		Broadcom <sup>®</sup> BCM5719×1[オンポード], KSZ8051-PHY×1(オンポード, ベースポード管理モジュール専用]			
		インタフェース Wake On LAN機能	1000BASE-T/100BASE-T×/10BASE-T×4(RJ-45), 100BASE-TX/10BASE-T×1(RJ-45)[ペースポ-ド管理モジュール専用] <b>+8</b> サポート <b>+9</b>			
	TPM(BitLockerのみ)*10		TPM1.2			
外形寸法 質量(最大)			440(W)x885(D)x44(H)mm(東起物含まず]、480(W)x715(D)x44(H)mm(更起物含む]  \$714.71x(15.01x) \$714.71x(15.01x) \$715.11x(15.01x) \$715.11x(15.0			
東亜(泉人) 電源	仕様		\$914.7kg(18.0kg) \$914.8kg(18.1kg) \$915.0kg(18.9kg) \$915.1kg(18.9kg) 450W (80PLUS <sup>®</sup> Platinum)			
	電圧		AC100V/AC200V±10% 50/60Hz			
	コンセント形状(本数) 冗長化電源		接地型2極差込コンセント(標準:1、電源1-ット(オブション)搭載時:2) 1(必須オブション) + 1(オブション)(ホットブラグ対応)			
冗長FAN			サポート(ホットブラグ非対応)			
ベースポード管理モジュール(BMC)		(C)	あり[IPMI1.5 準拠 (IPMI2.0 準拠 <b>* 1 1</b> )] 動的パワーキャッピング			
電力制御 運用時消費電力+12/最大消費電力		+	AC100V:264W/354W,	- MJFリバンー AC100V:264W/353W,	AC100V:238W/336W,	AC100V:240W/335W,
			AC200V: 261W/347W AC100V: 268VA/356VA,	AC200V:261W/347W AC100V:267VA/356VA,	AC200V:235W/330W AC100V:241VA/338VA,	AC200V: 238W/328W AC100V: 243VA/338VA,
運用時皮相電力*12/最大皮相電力 最大消費電流		,,	AC200V:268VA/358VA AC100V:4.0A, AC200V:2.0A	AC200V:268VA/357VA AC100V:4.0A, AC200V:2.0A	AC200V:242VA/341VA	AC200V:246VA/340VA AC100V:3.8A, AC200V:1.9A
省工本法 区分		区分	ACTOUV:4.0A, ACZUUV:2.0A	AGTUUV:4.UA, AGZUUV:Z.UA	AC100V:3.8A, AC200V:1.9A	AG100V: 3.8A, AG200V: 1.9A
(2011年度)に基づく	<b>表示</b>	エネルギー消費効率+14	インテル <sup>®</sup> Xeon <sup>®</sup> プロセ	zッサーE5-2470:040 / E5-2440:0.53 / E5-2420:0.66 / E		セッサー1403:1.29 *32
/CCI基準 *15 NERGY STAR <sup>®</sup>			クラスA情報技術装置 非適合			
联音			#FMILE 50dB以下 <b>#16</b>			
温度/温度条件(非動作時)			温度:10~35°C(0~40°C)/湿度:20 ※搭載CPUがXeon E5-2470以外で、	32GBメモリボードを搭載しない場合、	温度:10~35℃(0~40℃)/湿度:	20~80%(10~90%)但し結露しないこと)
製品含有化学物質管理			環境温度10°C~40°Cでの動作に対応 RoHS指令で規定される特定有害物質の使用制限に対応			
インストールOS			Windows Server <sup>®</sup> 2012 Standard 日本語版/Windows Server <sup>®</sup> 2012 Standard 日本語版/Windows Server <sup>®</sup> 2008 R2 Enterprise 日本語版(SP1)(25CAL代)/Windows Server <sup>®</sup> 2008 R2 Standard 日本語版(SP1)(SCAL代)/Windows Server <sup>®</sup> 2008 Enterprise 32-bit 日本語版(SP2)(35CAL代)**17 / Windows Server <sup>®</sup> 2008 Standard 32-bit 日本語版(SP2)(35CAL代)**17 / Red Hat Enterprise Linux Server 6.2(32-bit 366)*18+18+20*23 / Red Hat Enterprise Linux Server 6.2(32-bit 366)*18+20*23 / Red Hat Enterprise L			
	<del>サポー</del> ⊦os		Windows Server <sup>®</sup> 2012 Standard 日本語版(SP2/_VRI)/Windows Server <sup>®</sup> 2008 Enterprise 日本語版(SP2/_VSPI)/Windows Server <sup>®</sup> 2008 Enterprise 日本語版(SP2/_VSPI)/Windows Server <sup>®</sup> 2008 Standard 日本語版(SP2/_VRI)/Windows Server <sup>®</sup> 2008 Standard 日本語版(SP2/_Windows Server <sup>®</sup> 2008 Standard 日本語版(SP2/_Windows Server <sup>®</sup> 2008 Standard Hasħ版(SP2/_Windows Server <sup>®</sup> 2008 Enterprise 32-bit 日本語版(SP2/_Windows Server <sup>®</sup> 2008 Standard Server 2008 Standard Se			
<del>∜</del> #−⊦os			Enterprise 32-bit 日本語版(SP2)/Windows Server® 200 Linux Server 6.2(32-bit x86)*18*19*20*23./Red Hat Er x86,64)*18*23*30*35/VMware vSphere® ESXi 5.1[HM vSphere® ESXi 5.0 Update 2[HM1/LM1]*21*29*34	interprise Linux Server 6.2(64-bit x86_64) <b>=18=19=23</b> / R 11/LM1] <b>+21+25+29+33</b> / VMware vSphere <sup>®</sup> ESXi 5.1 Upo	ed Hat Enterprise Linux Server 6.4(32-bit x86) <b>*18+20*</b> Jate 1[HM1/LM1] <b>*21*25*29*33</b> /VMware vSphere <sup>®</sup> E	<b>23*30*35</b> / Red Hat Enterprise Linux Server 6.4(64-t SXi 5.0 Update 1[HM1/LM1] <b>*21*29*34</b> / VMware
サポートOS 主な番付ソフトウェア	•		Enterprise 32-bit 日本語版(SP2)_Windows Server® 200 Linux Server 6.2(32-bit x86)*184*1920*23_Red Hat Ex x86.64/*1842*304035_VMware vSphere® ESXI 5.1[HM vSphere® ESXI 5.0 Update 2[HM1/LM1]*21*29*34 JP1/ServerConductor/Agent[Windows/Linux版](サーバ管	interprise Linux Server 6.2(64-bit x86_64)*18*19*23/R	ed Hat Enterprise Linux Server 6.4(32-bit x86)* <b>18*20*</b> Jate 1[HM1/LM1]* <b>21*25*29*33</b> /VMware vSphere® Education (HM1/LM1)* <b>21*25*29*33</b> /VMware vSphere® Education (HM1/LM1)* <b>21*25*29*33</b> /VMware vSphere® Education (HM1/LM1)* <b>21*25*29*33</b> /VMware vSphere® Education (HM1/LM1)** Jesus (Jesus Julius	23 <b>*30*35</b> /Red Hat Enterprise Linux Server 6.4(64-b Xi 5.0 Update 1[HM1/LM1] <b>*21*29*34</b> /VMware /Blade Server Manager(サーバ管理サール)/MegaRAID

源技人物なよりリフート時間に下AN回転放か一時的に数元にならたの、本島手機を超えることかあります。
417: Windows Server 2008 R2(Windows Server 2008 R2) Red Linux OSIC 開しては動作権認情報を公開するものであり、全ての動作を保証するものではありません。

\*\*18: Linux OSIC 開しては動作権認行を持たしてサポートと対象といる。

\*\*28: RADID追加機能のRecover/機能オプション利用時は未サポート。

\*\*24: 大ストール代育・フェント・オード・フィンはあった。

\*\*24: RADID追加機能のRecover/機能オプション利用時は未サポート。

\*\*24: RADID追加機能のRecover/機能オプション利用時は未サポート。

\*\*25: RADID追加機能のRecover/機能オプション利用時は未サポート。

\*\*24: RADID追加機能のRecover/機能オプション利用時は未サポートのことにはキーポート、マウスは添付されておりません。

\*\*25: RADID追加機能のRecover/機能オプション利用時は未サポートのことにはキーポート、マウスは添付されておりません。

\*\*25: RADID追加機能のRecover/機能オプション利用時は未サポートのことにはキーポート、マウスは添付されておりません。

\*\*26: RADID追加機能のRecover/機能オプション利用時は未サポートのことにはキーポート、マウスは添付されておりません。

\*\*26: RADID追加機能のRecover/機能オプション利用時は未サポートのことにはキーポート、マウスは添付されておりません。

\*\*27: DVD -RAMドライブのみ能込み可、

\*\*28: RADID追加機能のRecover/機能はするといます。

\*\*28: RADID追加機能のRecover/機能は表します。

\*\*29: RADID追加機能のRecover/機能は表します。

\*\*29: RADID追加機能のRecover/機能は表します。

\*\*29: RADID追加機能のRecover/機能は表します。

\*\*20: RADID追加機能のRecover/機能を分解するといます。

\*\*20: RADID追加機能のRecover/機能が表します。

\*\*20: RADID追加機能のRecover/機能が表します。

\*\*20: RADID追加機能のRecover/機能が表します。

\*\*20: RADID追加機能のRecover/機能を分解するといます。

\*\*20: RADID追加機能のRecover/機能が表します。

\*\*20: RADID追加機能のRecover/機能を分解するといます。

\*\*20: RADID追加機能のRecover/機能を分解するといます。

\*\*20: RADID追加機能のRecover/機能が表します。

\*\*20: RADID追加機能のRecover/機能が表しまする

\*\*29: Pentium 1403搭載時は来サポート。\*\*30: Linuxサポートサービス契約を前提条件としてサポートします。またLinuxインストール作業代行サービスには対応していません。\*\*31: DDR3-1333 Widerange Registered ECC (32GB)搭載時は800MHz動作となります。 \*\*32: \*\*4エネ法(2011年度)を 未達成(1005未満)となります。\*\*33: VMware vSphere 5 (1CPUサーバ専用ライセンス)に対応数します。詳細についてはお問い合わせださい。 \*\*34: VMwareサポートサービス契約を前提条件としてサポートします。インストール代行サービスには対応していません。\*\*35: 「 JPI/ServerConductor/Agent]「JPI/ServerConductor/Advanced Agent]をお使いの場合は、09-56以降をお使いださい。●ハードディスク等の容量表記は、1TB=1,000<sup>\*</sup>Byte、1GB=1,000<sup>\*</sup>Byte、はB書=1,024 \*\*Byte、はB書=1,024 \*\*Byte、はBase